

プログラム名 (40字以内)	青森県三戸町・地域と自分の未来をアップデートする14日間のディープ・ジャーニー		
団体名/所属	三戸町役場まちづくり課		
活動区分	フィールドワーク体験活動	希望する選考方法	書類審査後に面接
募集人数	7人	選考対象	大学院学生を含む
活動方法	オンラインを活用しつつ現地活動を行う		
参加者に求めるもの	<ul style="list-style-type: none"> ・地域創生や地方の課題解決に関心があり、主体的に調査・提案に取り組める方 ・事前学習(三戸町の歴史・産業・地域課題についてのリサーチとレポート作成)に取り組める方 ・現地でのフィールドワーク、ヒアリング、インタビュー等に積極的に参加できる方 ・14日間のプログラム全日程に参加可能な方 <p>*共働きの多く、インタビューを実施する場合、相手によっては、夕方時間のみヒアリングや仕事をお手伝いしながらの場合もあることを了承いただける方。</p>		
活動期間	<p>オリエンテーション:2026/7/3(金) 18.45~@本郷キャンパス ※詳細は備考欄を確認してください</p> <p>現地活動期間:全14日間(2回に分けて実施)</p> <p>第1フェーズ:集合研修(7日間) 2026/8/24(月)~8/30(日)(Day1-7) 仲間とともに現地に滞在し、その土地の歴史・文化・「今」を五感で学ぶインプット中心の期間。</p> <p>第2フェーズ:再訪プログラム(7日間) 2027/2/22(月)~2/28(日)(Day8-14) 第1フェーズで見つけた「自分なりのテーマ」を持って再びその土地を訪れる、自律型・深化型の7日間です。</p>	主な活動予定場所	青森県三戸町
プログラム実施の目的	<p>「11びきのねこのまち、三戸町で挑む。城下町の歴史と現代の課題を繋ぐ14日間のディープ・ジャーニー」絵本『11びきのねこ』の作者、馬場のぼる先生の故郷であり、豊かな歴史が息づく三戸町。ここは、伝統を守る「静」の側面と、新たな価値を生み出そうとする「動」の側面が共存する、課題解決の最前線です。1回目の訪問で町の「本質」に触れ、一度持ち帰って思考を磨き、2回目の訪問で「自らの提案」を社会にぶつける。この14日間は、あなたの主体性と創造力を引き出す、一生モノの挑戦になります。</p>		
具体的な内容(800字程度)	<p>本プログラムでは、体験→省察→概念化→実践という学習サイクルを念頭に、「表層的な地域理解」から「当事者としての深い関与」へと学生を導くことを目的としている。7日間の訪問を2回に分けて実施するよう設定しており、全体で14日間のプログラムである。</p> <p>【事前学習】 三戸町の基礎理解。三戸町への訪問前に、自分の地元の町と三戸町の特性を相対化して捉える視座を獲得する。</p> <p>【第1フェーズ(集合研修)：集中探究と初動提案】 (三戸町:7日間)三戸町のリアルを「発見」し、論理的な仮説を構築するインプット&アウトプット期間。 8/24(月)1日目:到着・オリエンテーション・地域理解の基盤づくり地域リーダーとの対話を通じ、町の全体像と現在の「温度感」を把握。 8/25(火)2日目:各自の関心に(自分事として)基づいた個別調査(主体的な学びの促進)午前:共通基盤リサーチ、午後:関心テーマに分かれた個別フィールドワーク。指導教員によるメンタリング。 8/26(水)3日目:リサーチ深化と現場での一次情報を収集。指導教員によるメンタリング(オンライン)を受け、提案の論理構成を磨く。 8/27(木)4日目:提案完成・報告会・地域交流。午前までブラッシュアップに充て、午後には町役場や小中学校での報告会。終了後の交流会でフィードバックを受ける。 8/28(金)5日目:追加調査・三戸町との関係深化。報告会での気づきを元に追加リサーチ。町の日常生活へ一歩踏み込む。 8/29(土)6日目:自由時間・日常生活体験地域イベントへの参加や住民との交流を通じ、統計データに現れない「情緒的な文脈」を理解する。 8/30(日)7日目:リフレクション・帰路フェーズ1の総括と、フェーズ2に向けた「問い」の整理。</p> <p>【第2フェーズ(自律プログラム)：深化と社会実装への試行】 (三戸町:7日間)2/22-2/28 一度大学へ戻り、専門知を掛け合わせ再構築した提案を、現場で「検証・改善」する実践期間。 再訪:自律的なフィールド活動フェーズ1で築いた関係性を基盤に、第一フェーズの自分柄の提案を地域や他の人に向けた提案ができるように、実証実験やインタビューを実施。深化:地域との共創アクション「よそ者」としての提案を、地域の方と共に「自分たちのこと」へと昇華させる合意形成プロセスを体験。</p> <p>総括:持続的な関係性の構築研修終了後も続く連携の仕組みを提案。学生自身が三戸町の「関係人口」としての役割を自覚する。</p>		
【総額】参加するための費用	無し		
【内訳】参加するための費用(宿泊費)	無し(三戸町が用意する施設に宿泊)		
【内訳】参加するための費用(交通費)	無し(三戸町が負担する)		
【内訳】参加するための費用(その他)	無し(滞在中の食費/生活用品等)		
奨励金額(予定)	0円		
備考	<p>参加者確定後、企画者と参加学生の顔合わせを兼ねたオリエンテーションを実施します。 日時:7月3日(金)18.45~20:15 場所:本郷キャンパス(対面)</p> <p>活動に向けた説明なども行うため、原則参加とします。 授業等の都合で開始時間に間に合わない場合や、やむを得ず参加が難しい場合は、参加確定後に体験活動推進チームまで連絡してください。</p> <p>宿泊費、交通費、滞在中の食費・生活用品等は、各自で立替払いとする。 プログラム修了後、まとめて現金にて支給する。</p>		
活動に関する関係資料のダウンロードサイト			
応募団体を紹介するウェブサイト等(団体で応募の場合)	<p>三戸町HP: https://www.town.sannohe.aomori.jp/index.html https://www.town.sannohe.aomori.jp/choseiinfo/1/index.html</p>		
この企画に対する担当者(応募団体)の参加の有無	参加する		